

# 図書館だより

第 12 号(2008 年 5 月)

城西大学水田記念図書館

図書館ホームページ <http://libopac.josai.ac.jp>

図書館メールアドレス [library1@josai.ac.jp](mailto:library1@josai.ac.jp)

レイ・ストレイチャー著 『イギリス女性運動史 1792－1928』 刊行

語学教育センター 吉田尚子

1 月にレイ・ストレイチャー著『イギリス女性運動史 1792－1928』が、みすず書房から刊行された。これはイギリスの女性運動家 Ray Strachey(1887－1940)が、1928年に出版した *The Cause: A Short History of the Woman's Movement in Great Britain* の本邦初訳である。この著書はイギリスにおける18世紀末から1928年の女性参政権獲得までの130年余りの女性運動の歴史を扱っており、英米や日本で息長く読みつがれてきた古典的名著である。フランス革命と産業革命を端緒に、18世紀末にイギリスの中産階級の女性たちの間に芽生えた慈善運動から始まった女性運動が、いかに女性参政権の実現までこぎつくことが出来たか、その長い苦難の道を著者は自らを運動の内側に身をおいて、現実をつぶさに観察し、その歴史を記録した。したがって、ストレイチャーは歴史的事実を理論的に論じる歴史家の立場というよりもむしろ、運動に携わった女性たちの味わった挫折感や喜びなどを共有した者の立場から、女性参政権獲得までに起きた歴史的事象を運動の内部から具体的に描き出したといえる。ある意味ではそれは現実に運動を経験しながら、その歴史を記録した者の持つ強みであり、歴史家が第三者の視点で書いた一般の歴史書とは違う魅力が感じられる。

原題の *The Cause* は日本語では「大義、大目的、運動」などと訳されるが、この場合の *Cause* は女性参政権のために戦った運動を意味している。しかし、本書の扱ったテーマをより明確に表すために題を『イギリス女性運動史 1792－1928』とした。男女平等の人権を求めるメアリー・ウルストンクラフトが書いた『女性の権利の擁護』が刊行された1792年を女性運動の起点とし、英国で女性の普通選挙権が実現した1928年までの歴史を扱っている。

この著書は単に女性参政権の問題だけではなく、それを達成する過程で起こってきた様々な女性の社会的問題をも提示している。すなわち、本流といえる女性参政権の実現のみならず、より広い領域での改革を目指して女性の法的、政治的権利を獲得することによって自由と自立を達成していった女性たちの足跡を示した支流の道程をも描き出している。参政権運動は女性の教育、職業、労働問題、結婚、社会的地位などの問題も関わってくるので、本書の内容は多岐にわたっている。私は共訳者の一人として、翻訳に携わったが、わかりやすいように人物、団体、法律などに関する詳細な訳注を付けた。本学図書館でも閲覧できるので、教職員、学生の方々、また市民の皆様にごひ、読んでいただくことを願っている。

吉田 尚子先生よりレイ・ストレイチャー著 栗栖美知子・出淵敬子監訳、吉田尚子他共訳  
『イギリス女性運動史 1792－1928』（みすず書房、2008）

のご寄贈をいただき、3階開架 367.233//St8 に配架いたしました。

ありがとうございました。

# 図書館ガイダンス開催中

大学図書館で利用できる資料は公立の図書館と比べて専門性が高く、勉強する内容によっては他館から資料を取り寄せたり、学術文献を電子ジャーナルから探し出したりする技術が必要不可欠です。

そこで図書館では効率的で的確な検索技術を身につけていただくために、図書館ガイダンスを行っています。

内容は

## ☆基礎知識編

大学図書館の機能とホームページの解説  
検索のための OPAC の使い方  
図書館資料と請求記号の見方

## ☆利用方法編

図書館資料の貸出・返却から予約の仕方  
電子ジャーナルの使い方  
商用データベースの使い方



## ☆実習編

テーマを決めて OPAC で検索  
書架から本を見つける  
見つからない場合の資料の探し方～NACSIS-Webcat と国立国会図書館～

の3つを柱とし、図書館利用のファーストステップとして例年好評をいただいております。

そのほかにも「こんなことを教えてほしい」「どんな使い方ができるのか知りたい」「データベースを使いこなしたい」等、初心者のための図書館ツアーから検索エキスパートになるための講習会まで、皆様のご要望に沿った内容で開催いたします。

現在はクラス単位での受付が多いですが、もちろんゼミ単位、友人同士、個人でも受け付けております。

詳しくは図書館 1 階カウンター、もしくは内線 1152 までお問い合わせください。

## さらに便利に！



4/12 に電子ジャーナル AtoZ  
にメディカルオンライン、日経  
BP 記事検索など和雑誌も追  
加されました。

また 4/25 には世界最大の学術文献データベース「Scopus」が利用可能になりました。

これにあわせて 5/22 に J-Dream II、Endnote の講習会が  
6/3 には Scopus、Science Direct の講習会が開催されます。  
ぜひご参加ください

# 図書館を活用しよう！



新入生の皆さん、大学生活には慣れましたか？

大学での授業は高校とは違った形態で、いろいろ戸惑ったりもしているかと思います。中でも一番頭を悩めるのはレポートではないでしょうか？

自分で調べ、自分で考え、自分でまとめる。答えにたどり着く過程もまた大学という場所の学び方のひとつです。教科書には載っていない、自分だけの答え、自分だけの解き方を見出すのが高校までの勉強と一味違うところでしょう。

ですから、初めての問題に大きな壁を感じたり、まず何から手をつけていいのか迷ったりしているかと思います。

そんなときにはぜひ図書館を役立ててください。

図書館の 2 階は広々としたホールに自習用の机をたっぷり用意して皆さんをお待ちしています。また、同じ 2 階にはレポートを書く上で役に立つ資料がたくさんありますので、ぜひ手に取って見てください。

中にはズバリ「レポートの書き方」なんて本もありますので、書式に詰まったときなどはこっそり参考にしてみる……というのも図書館のうまい使い方です。そのほか各種辞典も取り揃えておりますので、手ぶらで来てもすぐ辞典に手が届きます。

なんといっても、図書館には個人では到底そろえきれない量の専門書や参考書がたくさんあります。これから数多の課題を相手にする皆さんにとって、図書館が強い味方になるのは間違いありません。

ぜひ一度足を運んで、そして資料を手にとって見てください。

図書館はいつでも皆さんの来館をお待ちしております。



## 今月のお薦め本＆雑誌

☆これから論文を書く若者のために 酒井聡樹・著

共立出版 2階開架 816.5/Sa29

☆これでわかった！ レポート作成 青山満、春日博・共著

図書出版社 2階開架 816.5/A58

☆インターネット完全活用編 大学生のためのレポート・論文術 小笠原喜康・著

講談社 2階開架 816.5/022

☆情報源としてのレファレンス・ブックス 長沢雅男・著

日本図書館協会 3階開架 015.2/N22

☆図書館のプロが教える＜調べるコツ＞ 浅野高史、かながわレファレンス探検隊・著

柏書房 3階開架 015.2/A87

# 知っておくと便利な図書館用語集 Vol.1

**NDC**……日本十進分類法のこと。図書館の本はこの分類法によって分類されています。  
大きく分けて

- 0.総記……図書館、図書、百科事典、一般論集、逐次刊行物、ジャーナリズム、叢書
- 1.哲学……哲学、心理学、倫理学、宗教
- 2.歴史……歴史、伝記、地理
- 3.社会科学…政治、経済、経営、法律、社会、教育、風俗習慣、国防
- 4.自然科学…数学、理学、医学、薬学
- 5.技術……工学、工業、家政学
- 6.産業……農林水産業、商業、運輸、通信
- 7.芸術……美術、音楽、スポーツ、諸芸、娯楽
- 8.言語……各国言語
- 9.文学……各国文学

となっています。

**請求記号**…図書の内容に沿って NDC で分類された番号です。

内容がそのまま番号に置き換えられているので、同じ番号のそばには類似した内容の図書があります。薬学なら 499、経済なら 330、と大まかに知っておくと資料を探すときに便利です。

**OPAC**……Online Public Access Catalog の略で、オンライン閲覧目録のことです。  
図書館のホームページより所蔵している本をオンラインで検索できます。

**ILL**……InterLibraryLoan,図書館間相互貸借のことです。  
他大学や研究機関同士で所蔵資料や学術文献の貸し借りをを行います。  
また、所蔵文献の複写物を提供する文献複写も含みます。

**参考図書**…探索、質問に回答するための図書のことで、辞書、百科事典、年鑑、統計、便覧などのことです。そのほか、目録や索引等もこの参考図書に含まれます。

## 図書館が便利になりました

月曜日～金曜日 9:00～**21:00** (夏休み中 9:00～19:00)

土 曜 日 9:00～**19:00**

日 曜 日 9:00～**17:00**

★ 休館日は祝日、本学創立記念日(4月20日)、夏期(3日程度)、年末年始(6日程度)、大学入試センター試験日です。

★ スクールバスを利用される方は、坂戸駅行大学発 21:05

高麗川駅行大学発 21:00 が最終便となります。(学生はチケットが必要です)